

事後評価【番号7】

**堤の外急傾斜地崩壊危険区域
急傾斜地崩壊対策事業**

1. 急傾斜地崩壊対策事業の目的

○事業の目的

急傾斜地の崩壊による災害から国民の生命を保護するため、がけ崩れの発生が予想される危険箇所を保全する。



2. 急傾斜地崩壊対策事業の概要

急傾斜地崩壊防止工事

延長 L=176m

- ・重力式擁壁工 L=60.2m
- ・もたれ式擁壁工 L=56.4m
- ・吹付法砕工 A=951m²

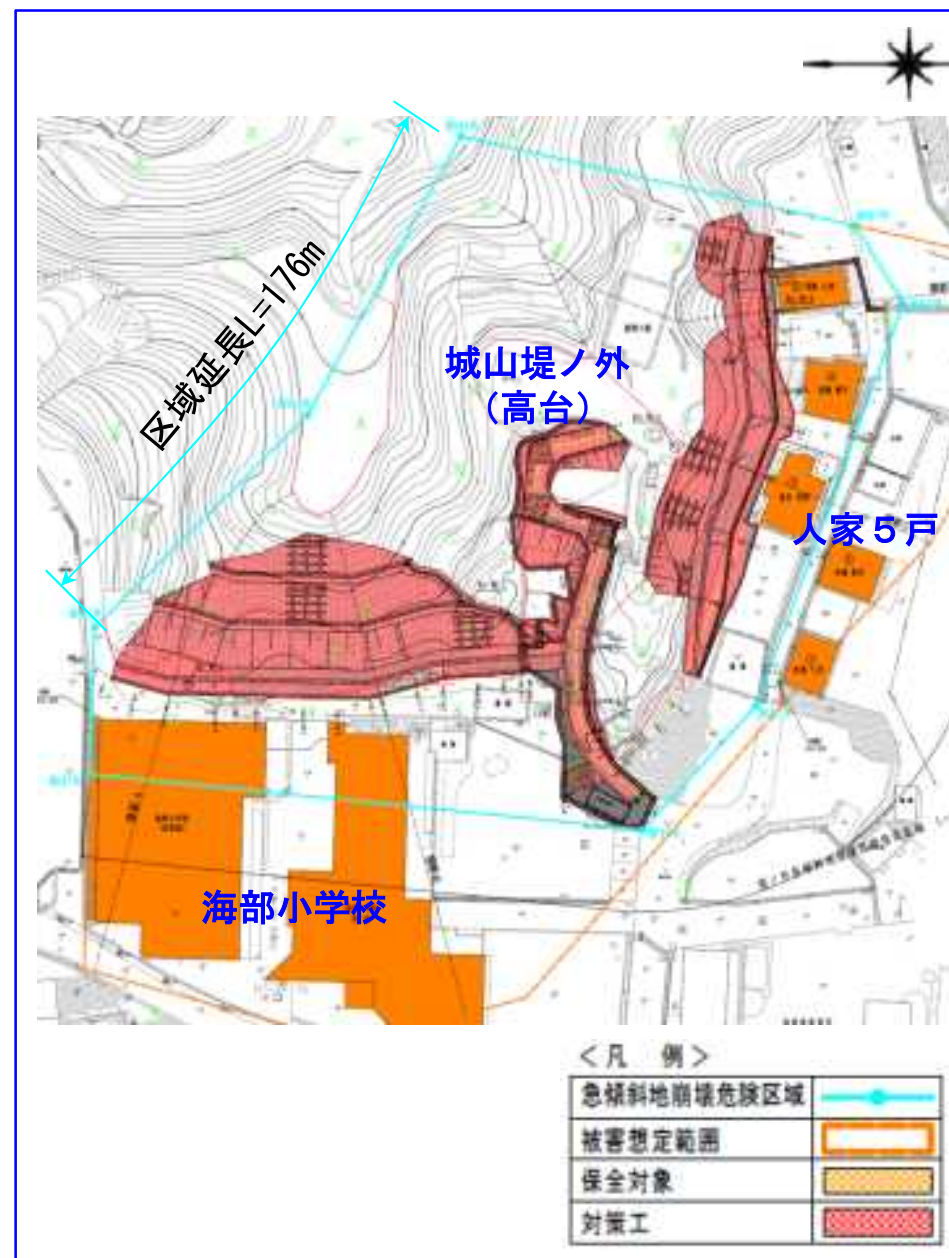
費用便益分析の算定(B/C)

事業期間:平成22年度～平成26年度

総便益 : 1,437百万円

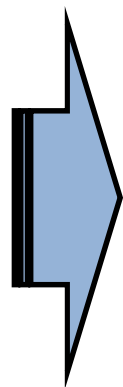
総費用 : 198百万円

$$B/C=7.3$$



3. 急傾斜地崩壊対策事業による効果（1）

整備前



完成



○整備効果

保全対象

- ・人家 5戸
- ・公共施設 海部小学校

(地域防災計画の
津波避難所)

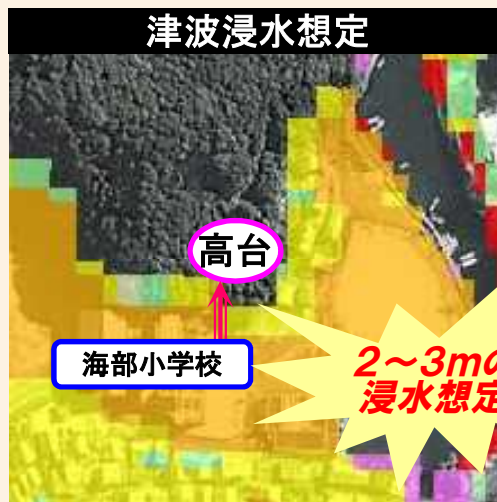


4. 急傾斜地崩壊対策事業による効果（2）

○ストック効果

津波避難路の整備

がけ地の保身に併せた
津波避難路の整備



避難体制の強化

避難訓練の実施
防災意識の向上



地域の総合的な防災力向上へ